

NO HATE! NO RACISM!

ヘイトスピーチ (差別煽動) デモ&街頭宣伝に反対しています。

We oppose hate demonstration and propaganda.

우리는 배외주의자들의 시위와 프로파간다를 반대합니다.

我们反对排外主义者的游行示威。

ご迷惑をお掛けする点がありましたら、ご容赦ください。
ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

STOP! ヘイト・スピーチ

人種や民族、世系、外国人や性的少数者などに対して、差別的な憎悪を煽動するヘイト・スピーチを伴うデモや街頭宣伝が、この周辺で行われる、もしくは行われています。そのヘイトスピーチ・デモや街頭宣伝に反対しています。

街頭だけでなくネット上でも、偏見に基づいて流された多くの差別的「デマ」を「事実」として振りまき、差別や偏見を煽る書籍やメディアも溢れています。

ヘイト・スピーチは、その対象とされた人々の尊厳を踏みにじり、存在そのものを否定する悪質な人権侵害行為であり、言葉による差別的な暴力です。差別やヘイト・スピーチは、対象とされた人々に恐怖を与え、心を深く傷つけ壊します。

2009年に起きた朝鮮学校襲撃事件の民事裁判では、2014年の大阪高裁で「人種差別に該当する」との判決が出されています。これは差別的憎悪による犯罪(ヘイト・クライム)です。

国連の自由権規約委員会や人種差別撤廃委員会などでも、日本政府に対し、街頭やネットを含むメディア、公人などによるヘイト・スピーチについて、禁止や処罰も含めて対処を行うように勧告しています。

差別やヘイト・スピーチへの対策を求める意見書も、100以上の地方議会で採択されています。大阪市では、ヘイト・スピーチに対処する条例案も議会に提出されています。

国会でも超党派により「人種差別撤廃施策基本法」が参議院に提出されました。

日本政府や地方自治体には、差別やヘイト・スピーチをなくす義務と責任が課せられています。

誰もが差別される事のない社会にしていくために、
今こそ街頭やネットも含めたあらゆる場所で、差別に反対という声を。

差別やヘイトスピーチをなくすために

法務省は「ヘイトスピーチを許さない」という「啓発」を行なっています。しかし内実は不十分で、被害の相談をしても2次被害が生まれているのが現状です。法務省による「啓発」だけでは、差別やヘイトスピーチの被害をなくす事はできません。

日本政府は、差別やヘイトスピーチの被害についての実態調査をする事もせず、「処罰立法措置をとることを検討しなければならぬほど、現在の日本が人種差別思想の流布や人種差別の扇動が行われている状況にあるとは考えていない」としています。

■ 国連の自由権規約委員会や人種差別撤廃委員会からの勧告

そのような日本政府に対し、ヘイト・スピーチの禁止や啓発、関連行政組織への研修、教育、人種差別の包括的定義の採用、包括的な特別法、国内人権機関、条項の1部留保の撤回、ネットやメディアへの対処、対象者の起訴、公人への制裁措置などを勧告しています。

ヘイト・スピーチだけでなく、朝鮮学校の無償化制度からの除外・補助金凍結や削減への懸念、アイヌ民族の権利保護や沖縄(琉球)との協議が不十分、日本軍元「慰安婦」に対する謝罪と賠償と責任者の処罰など、日本における人権侵害や差別について是正するよう、多岐にわたる勧告が出されています。

■ 人種差別撤廃委員会『一般的勧告35 人種主義的ヘイトスピーチと闘う』

人種差別撤廃条約のヘイト・スピーチに関する条文を解説しています。「人種主義的ヘイトスピーチがその後の大規模人権侵害およびジェノサイドにつながってゆく」とあります。日本でいえば、1923年の関東大震災における多数の朝鮮人中国人に対する虐殺が真っ先に思い出されます。

■ 「人種等を理由とする差別の撤廃のための施策の推進に関する法律案」(人種差別撤廃施策基本法)

2015年5月22日に参議院へ提出された法律案です。人種等を理由とした差別の禁止を定めています。国や地方公共団体の責務、基本方針の作成、年次報告、相談体制の整備、情報提供、啓発、教育、ネットの差別防止支援、調査、審議会の設置等が盛り込まれています。ヘイト・スピーチの処罰を定めたものではありません。

■ 外国人権法連絡会「人種等を理由とする差別の撤廃のための施策の推進に関する法律(案)」に対する声明

参議院に提出された法案の評価する点と改善点について、わかりやすく書かれています。

日本政府や地方自治体が差別やヘイト・スピーチに対処するだけでなく、今できる事の1つとして、身近で起きている差別やヘイト・スピーチを止める事も大切です。

今も続く差別やヘイトスピーチと、その被害をなくすために。

参考書籍・ウェブサイト

- ▶【BOOK】『ネットと愛国 在特会の「闇」を追いかけて』安田浩一 講談社
- ▶【BOOK】『ルポ 京都朝鮮学校襲撃事件-〈ヘイトクライム〉に抗して-』中村一成 岩波書店
- ▶【BOOK】『ヘイト・スピーチとは何か』師岡康子 岩波新書(岩波書店)
- ▶【BOOK】『増補新版 ヘイト・クライム』前田朗 三一書房
- ▶【BOOK】『レイシズムと外国人嫌悪』駒井洋[監修]/小林真生[編著] 明石書店
- ▶【WEB】在日コリアンFAQ ⇨ <http://wiki.livedoor.jp/koreanfaq/>
- ▶【BOOK】『レイシズム ヘイト・スピーチと闘う -2014年人種差別撤廃委員会の日本審査とNGOの取り組み-』反差別国際運動日本委員会[編著] 解放出版社
- ▶【WEB】『人種等を理由とする差別の撤廃に向けた速やかな施策を求める意見書』日本弁護士連合会
⇨ http://www.nichibenren.or.jp/activity/document/opinion/year/2015/150507_2.html
- ▶【WEB】大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例案 ⇨ <http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu260/result/pdf/2015gian183.pdf>

